

みやぎのだより

No. 96

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成29年1月25日



婦人部栗原支部

CONTENTS

新年の挨拶.....	1	牛乳乳製品利用料理コンクール宮城県大会	7
第12回酪農フレンズパーティー開催	2	料理コンクールレシピ	8
婦人部仙南支部研修会開催される	2	北海道 乳牛産地情報	9
婦人部栗原支部「寄せ植え教室」開催	3	平成28年度 生乳生産実績	9
東北酪青女主催の秋季研修会開催される	3	理事会通信	10
牛群検定～優良事例紹介～Vol. 4	4	業務報告	10
酪農技術シリーズ④	5	編集後記	11
仙台市ガス局料理教室	7		

新年の挨拶



みやぎの酪農農業協同組合
代表理事組合長

伊藤 一成



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

今年は東日本大震災から6年目を迎えますが、昨年春には熊本地震、秋には東北・北海道において台風の大きな被害を受け、改めて自然災害の恐ろしさを痛感させられた一年だったと思います。

酪農界においては、平成27年の秋に国の指導により指定団体のあるべき姿や、一県一団体化による中間コストの削除、集送乳の合理化等、組織及び業務の見直しに取り組もうとしている矢先、政府の規制改革推進会議による「指定団体制度の廃止」が提言され大きな混乱と不安が広がりました。また、11月29日には政府が「農業競争力強化プログラム」を決定し指定団体への無条件委託の廃止と需給調整などの一定の基準を満たした全ての生産者に補給金を給付すること、部分委託を認めること等を柱とした改革案が打ち出されました。これらの改革が酪農家の所得向上に繋がれば良いと思われませんが酪農経営に取ってはリスクを高める可能性があり、危機感を感じているところです。

今年、組合としては色々な業務の見直しを考えその時々合った方策を見だし、組合員に信頼を得られるように施策を考えたいと思っています。

また、昨年秋から酪農三団体による「合理化検討委員会」を立ち上げ検討を進めているところです。

何よりも我々は、あくまでも組合員の皆様一人一人の所得向上と経営の安定に資する努力をする覚悟でおりますので、これまで以上の御指導と御協力をお願い申し上げ年頭のあいさつといたします。

第12回酪農フレンズパーティー開催

指導課



第12回酪農フレンズパーティーを12月4日(日)仙台勝山館にて男性(19名)女性(20名)で開催しました。

今回は、自己紹介タイムを3階のチャペルで行い、その後6階で昼食を取りながらフリータイムへと進みました。

男性は12月1日に青年部主催の事前セミナーの講習を受けており、講師の方がそのまま司会者として同席していたため、積極的に会話する姿がありました。終了

30分前には、気になった人を3名用紙に記入してもらい、最後にカップルを発表しました。薔薇の花一輪を持ち、男性から意中の女性に渡す際には大いに盛り上がりました。6組のカップルが誕生し、スタートラインに立ちました。

組合員、青年部等のご協力をいただきながら1人でも多くの方がゴールテープを切れるようサポートしていきます。

婦人部仙南支部研修会開催される

指導課

12月9日(金)大河原町「おおがわら天然温泉 いい湯」にて「牛のオーナメント付きフラワーアレンジメント」と題して婦人部仙南支部の研修会を開催しました。

今回の研修会は婦人部仙南支部の副部長である阿部由紀子さんを講師に迎え、100円ショップで揃う花やカゴなどの材料とインターネットで購入できる牛のオーナメントを使ってアレンジしました。

当日は、講師の由紀子さんに加工していただいた材料が配られ作業に入り、身近で調達できる材料を使い、それぞれのセンスで配置を行なうだけで個性的な作品が出来上がっていき、参加者は驚きつつも楽しく作業を行っていました。参加者からは、材料を買い足してもっと華やかにしようか、季節ごとにちょっと飾りを変えてみようか、などの声が聞かれ、

今回のアレンジメント研修をきっかけに様々なアイデアが浮かんでいるようでした。

研修会終了後は、懇親会を行い、くじ引きで座席を決め、自己紹介を行なうなどの工夫をこらし、顔なじみだけでなく、普段お話する機会の無い方とも懇親を深められたようでした。この研修をきっかけに皆さんもご自宅でフラワーアレンジメントを始めてみてはいかがでしょうか。



婦人部栗原支部「寄せ植え教室」開催

指導課

婦人部研修会を12月9日に部員さん近くの公民館庭において、南方町『花かご』店主阿部先生を招いて正月用「寄せ植え教室」を開催しました。この日は風もなく快晴という恵まれた天候で公民館のなかで開催する予定を急遽、駐車場(庭)で開催しました。当日は13名程の部員さんが参加しましたが、先生の手際のよいご指導と、部員さん1人1人のセンスのよさで短時間のうちに「寄せ植え」が完成したようでした。

来年度の研修会の予定も早速決めて(先生は12月は超多忙なため)部員のみなさんも安心した様子でした。最後に支部長から「来年も頑張って活動していきましょう」と声をかけられ、寄せ植え教室を終了しました。

次回は、2月に講師を招いて聴講研修会を予定しているようです。



東北酪青女主催の秋季研修会開催される

指導課

11月16日福島県石川郡石川町の『八幡屋』におきまして、東北酪農青年女性会議主催による秋季酪農研修会が開催されました。東北各地から約80名を超える参加があり、本組合の青年部・婦人部からは6名が参加しました。

全酪連購買部酪農技術研究所の猪内勝利研究員を講師に「哺育・育成を再確認」と題して講演が行われました。また、同技術研究所の山口巡所長からは酪農技術研究所内の施設等の紹介がありました。

翌日は技術研究所を見学し、参加者は各々の経営に取り入れようと熱心な姿勢が見られました。東北各県酪農家の交流が一層深まる研修会となりました。



フィールドビレッジファーム（野村牧場）

●牧場の概要（平成28年12月1日現在）

- *所在地：栗原市花山
- *飼養頭数：約50頭（搾乳頭数30頭）
- *年間出荷乳量：約300t
- *補正乳量：約10,800kg／頭



経営者の野村 泰仁さん

●牧場のこだわりと目指すもの

乳量よりも、牛を良い状態で管理し、長命連産させることにこだわっています。自給飼料として、牧草を12ha作付けし、コスト低減に努めています。

また、分娩前後の飼料管理、衛生管理を適切に行うことで、体細胞数の軽減、分娩間隔の短縮につなげるよう心がけています。

将来的には、自家育成牛を増やした安定的な生産・経営を目指し、現在は、性判別精液の利用、受精卵移植などに取り組んでいます。



●牛群検定の活用方法

①体細胞数

ファクシミリで送信される速報値で最初にチェックする項目としています。その際、過去の体細胞数の記録を確認しながら個体ごとの状況を把握し、個体ごとの対応、牛群中での配置、搾乳手順の検討などに活用しています。

②乳量・乳質

検定成績からは、牛群全体の産乳成績が把握できるので、購入粗飼料の産乳成績に対する影響やサプリメントの試験的な利用の効果が早期に判断できます。検定成績を利用して粗飼料やサプリメントを選択し、産乳成績の向上、低コスト化につなげています。

また、検定成績は個体ごとの成績もつかめるので、前回の検定成績との比較、ボディコンディションの確認をしながら、対応を検討しています。関係する指導機関からのアドバイスをいただきながら、代謝性の障害に限らず、飲水の状態、蹄管理の状況など多方面から検討できています。

③繁殖管理

農業共済組合の繁殖検診を受診しており、その際の基礎データとして有効に活用しています。乳質の成績から読み取れる乳タンパク質率の低下の防止策として、ルーメンバイパスコリンの利用を始め、繁殖成績が向上してきています。

また、平成28年度には、県の牛群検定普及推進協議会の牛群管理巡回指導の対象となり、各指導機関から多くのアドバイスをいただいていることも成績向上につながっているものと考えています。



牛群管理巡回指導の様子

●牧場から一言

牛群検定成績により、客観的に牛群全体の状態が把握できるので、農場としての方針決定や、問題が生じた際の改善策立案の際の良い判断基準となります。使い方次第ではありますが、農場の経営改善につながる情報がたくさん含まれていると思っています。

また、関係する指導機関の方々とお話をするときにも、実際のデータを用いて説明ができるので、具体的な対策につながっていると実感しています。

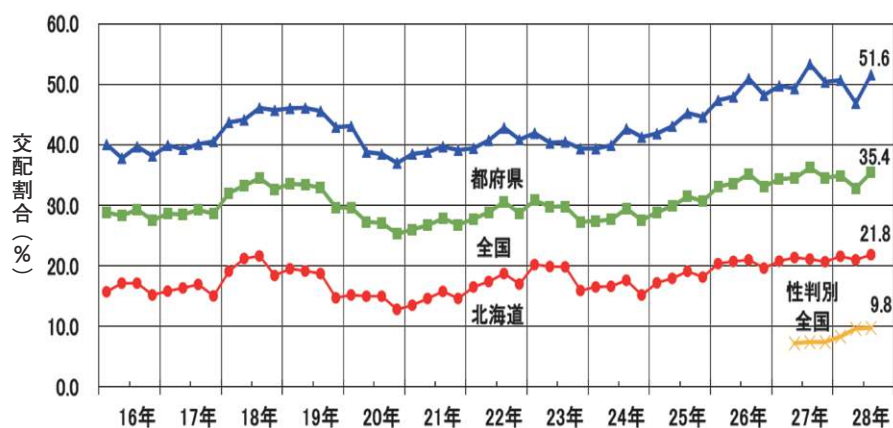
〔文責：栗原農業改良普及センター 猪股〕

牛群検定には6ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

- | | | |
|--------------|---------------------|------------------|
| ・宮城県ホルスタイン協会 | 〔（一社）宮城県畜産協会内〕 | TEL：022-298-9750 |
| ・県南乳用牛群改良組合 | 〔（一社）宮城県畜産協会仙南事業所内〕 | TEL：0224-52-2523 |
| ・県北乳用牛群改良組合 | 〔（一社）宮城県畜産協会中央事業所内〕 | TEL：0229-34-3304 |

育成牛が減っており、初妊牛価格が高騰しております。 後継牛確保の手段・ターゲットを明確にした経営戦略を持ちましょう！

●乳用牛への黒毛和種精液及び性判別精液の交配状況



(一社)日本家畜人工授精師協会「乳用牛への黒毛和種精液及び性判別精液の交配状況」より

平成28年7～9月期の黒毛交配割合は、全国35.4%、都府県51.6%と高い水準です。24年後半から高くなり、さらに26年後半からの高い黒毛交配水準が、長期的に続いています。

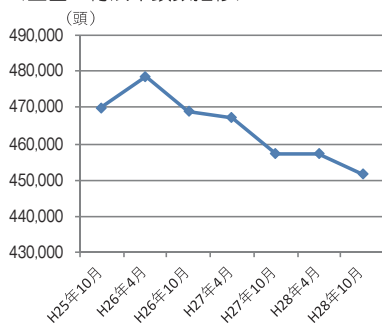
性判別精液は、ここ1年で2%ほど増え9.8%になっておりますが、近年の高い黒毛交配割合をカバーするまでには至っていないと推測されます。

黒毛交配状況が初妊牛頭数に影響が出始めるのは、妊娠・育成期間を経た約3年後になります。

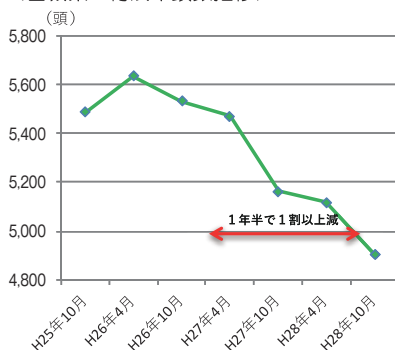
つまり、27年後半から不足してきている初妊牛が、29年後半よりさらに不足し、この先3年はその傾向が続く可能性があります。

●最近の育成牛頭数の推移 ※24ヵ月未満のホル♀頭数

<全国 育成牛頭数推移>



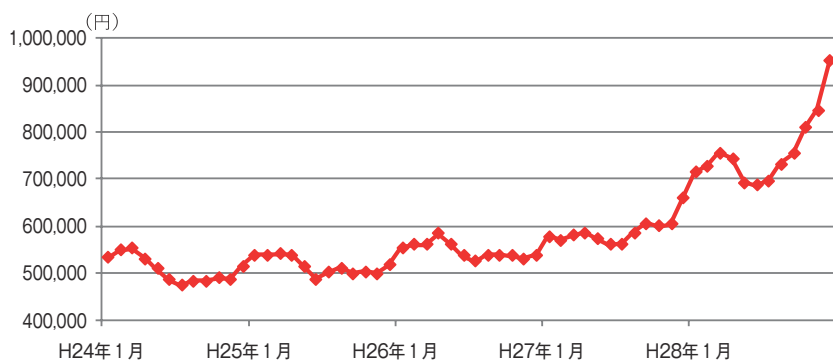
<宮城県 育成牛頭数推移>



(独)家畜改良センター「全国および都道府県別の牛の種別・性別・月齢別の飼養頭数」より作成

黒毛和種交配からの推測同様、実際の育成牛頭数も減少しており、この傾向が29年はさらに強まると予想されます。宮城県の育成牛減少率は、全国の減少率より大きく減っております。

●北海道 初妊牛価格動向（税込価格）

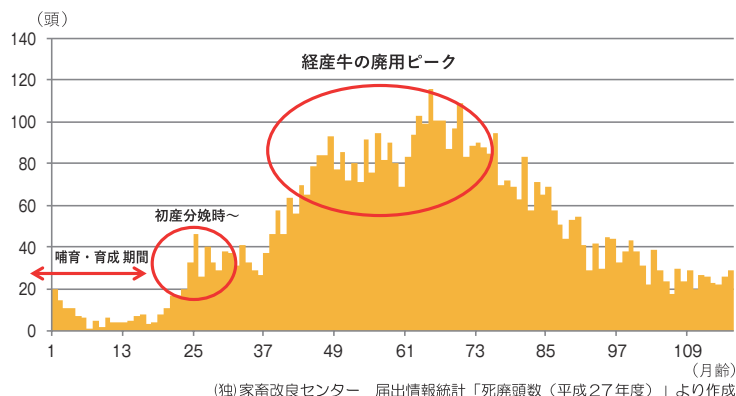


「ホクレン乳牛市場成績一覧表」より作成

平成27年後半より大きく値上がりし、28年後半はさらに急速に値上がりしました。F1・ET和牛子牛の販売価格も上昇傾向でしたが、それ以上の値上がり傾向となっております。

★対策① まずは、後継牛・経産牛の流出をくいとめましょう！

●宮城県 平成27年 月齢別死廃頭数(ホルスタイン♀)



ポイント①

哺育・育成期間の管理を徹底しましょう！

出生・哺育・育成期間の管理は、後継牛確保、および後の長命連産に大きな影響があります。また初産分娩時以降に死廃頭数が増加しているのが分かります。育成牛の体高・体重、そしてBCSを意識した育成牛管理がかかせません。



<新しい育成飼料「育成元気20」紹介>

育成牛の発育・繁殖、初産牛分娩に不安のある方、自給飼料を利用の方におすすめの育成飼料です。

- ・生後3ヵ月齢から分娩予定2ヵ月まで給与
- ・高蛋白(20%以上)、バイパス蛋白確保
- ・「飼料用酵母」添加
- ・「カビ毒対策混合飼料」添加
- ・ビタミン・ミネラル添加



ポイント② 移行期を中心とした飼養管理を徹底しましょう！

第2・3のピークは45～75ヵ月齢の期間に訪れます。乳質や繁殖の関係で廃用せざるを得ない経産牛も多くなります。疾病の起こりやすい移行期の管理を徹底することで、廃用の時期を遅らせましょう。

移行期管理に不安の場合は、飼料分析は必須です！

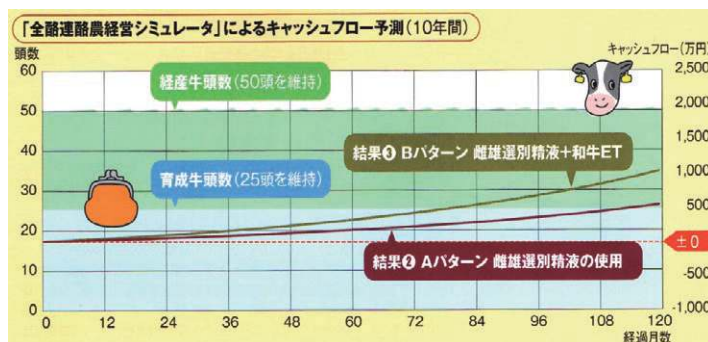
★対策② 種付(雌雄判別・ET等)・育成・導入戦略を持ち、後継牛を確保しましょう！

予定外の淘汰・ホル♀出生率になることがあるので、余裕のある後継牛確保計画が重要です。種付け戦略は、3年後の牛群内容に直結します。育成頭数・初妊牛頭数を左右する要素は「腹の数」×「受胎率(分娩間隔)」×「ホル種割合」×「♀出現率」×「事故率」です。

※上記の哺育育成・移行期の管理は、「事故率」「受胎率(分娩間隔)」に大きく影響します。

育成管理の飼養スペース・労働力がない場合は、預託利用は有効な方法ですので、ご相談ください。

後継牛確保の方針を迷ってる方には、「酪農経営シミュレータ」の利用での将来の牛群状況・資金繰り(キャッシュフロー)予測により検討されることをお勧めします。



資料提供 全酪連 仙台支所

12月1日(木)仙台市ガス局ショールームにて“ミルク和食”をテーマに料理教室を開催いたしました。

講師には森永乳業株式会社東北支店の遠藤先生と渡邊先生を迎えました。

メニューは、牛乳で煮込んだ「鶏肉ほっくりミルク肉じゃが」、パルメザンチーズを使った「ひじきと切り干し大根のパルメ炒め」、ヨーグルトとれん乳を使った「2色のれん乳ごまだれで和えるヨーグルト白玉」を作りました。

どれも簡単なメニューで1時間もしないうちに皆さん作り終わり、簡単だからまた家でも作ってみようなどお声をいただきました。

調理前には、「カルシウムは体内で作ることができないので、食事などから摂取するしかありません。

また、摂取したカルシウムのすべてを体内に留めておくことができないため、毎日摂取することが大切、骨粗しょう症予防のためにも、日々の食生活に積極的に牛乳乳製品を取り入れて下さい」というお話をしていただきました。

和食に牛乳をプラスすると、醤油や味噌などの調味料と組み合わせる驚きのコクと旨み加わり、食材本来の風味や特徴を損なわずに食塩やだしの量を減らすことができるため減塩に繋がります。

ぜひご家庭でも和食に牛乳乳製品をプラスしてみてください。



乳和食レシピはこちら <http://www.j-milk.jp/nyuwashoku/>



牛乳乳製品利用料理コンクール宮城県大会

宮城県牛乳普及協会

12月5日(月)仙台市民会館において、平成28年度牛乳乳製品利用料理コンクールを開催いたしました。家庭で手軽に作れる牛乳乳製品を使ったオリジナルレシピを募集し、牛乳乳製品に関心を持っていたき、料理に幅広く使用していただくことで消費拡大を図りました。

応募者数134名の中から、書類審査を通過した10名の方に実際に調理していただき、牛乳乳製品の活用法、手際、味で審査を行い、最優秀賞には鈴木いく子さんの「ふわふわチーズの卵寄せとトマトのホエーだし漬け」が選ばれました。

この料理は、手作りしたカッテージチーズを使っており、作る際の牛乳に直接だしを加えるという調理法が審査員の方々を驚かせました。

また、チーズを作る際に出るホエーも余すことなく使っており、大変好評でした。どちらもあっさりしているものの、だしが効いていてとても美味しかったです。

今回出場された方のレシピや大会の様子は、当協会ホームページに掲載しておりますのでぜひご覧下さい。

【URL】 <http://miyagi-milch.jp/>



ふわふわチーズの卵寄せとトマトのホエーだし漬け

最優秀賞
鈴木いく子さん



●材料・分量（4人分）

- ・牛乳…………… 500ml
- ・トマト…………… 4個
- ・卵…………… 3個
- ・和風だしの素…………… 小さじ1
- ・白だし…………… 大さじ1.5
- ・醤油…………… 大さじ1
- ・塩…………… ひとつまみ
- ・オクラ…………… 1本
- ・おろし生姜…………… 小さじ1
- ・ピンクペッパー…………… 8粒
- ・レモン汁…………… 大さじ1
- ・小葱…………… 1本
- <銀あん>
- ・だし汁…………… 100ml
- ・片栗粉…………… 大さじ1
- ・酒…………… 小さじ2
- ・みりん…………… 小さじ2
- ・醤油…………… 小さじ2
- ・塩…………… 少々

●作り方

- ①鍋に牛乳、だしの素、白だし(大さじ1)を合わせ温める。レモン汁を加えてかき混ぜる。
- ②ザルにキッチンペーパーを広げ①をこし、チーズとホエーに分ける。
- ③鍋に②のホエーを戻し、白だし(大さじ1/2)を入れて火にかけ、溶き卵を少しずつ流しいれ、ふわふわの寄席卵を作る。ザルにキッチンペーパーを広げこし、卵とホエーに分ける。
- ④鍋に③のホエーを戻し、みりん、醤油、塩を加えて温める。
- ⑤袋に湯剥きしたトマトと④を入れて漬けておく。
- ⑥小鍋に銀あんの材料を入れ火にかけ、よくかき混ぜあんを作る。
- ⑦器に②のチーズを③の卵で軽く包んで入れ、⑥をかけ、葱とピンクペッパーをのせる。
- ⑧別の器に⑤のトマトを入れ、⑤のだしをはり、茹でたオクラの輪切りと生姜を盛り付ければ完成。

POINT

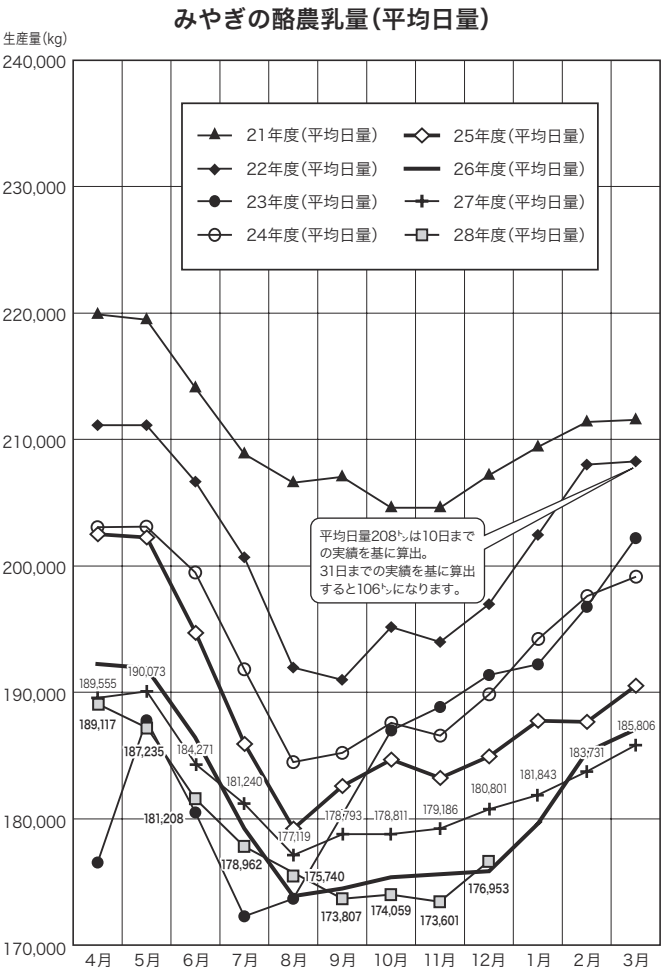
- ・ぼそぼそのイメージのあるカッテージチーズも、作る際牛乳を沸騰させない事と銀あんでしっとりとなり、和風だし味も効いています。
- ・カッテージチーズを作った際に出たホエーで今年流行のだし漬けトマトを作りました。

平成29年1月1日現在

	畜 種	相 場 (万円)	価格状況
札幌管内	育成牛 (10-12月令)	45~55	横這い
	初妊牛	80~95	強含み
	経産牛	50~55	横這い
釧路管内	育成牛 (10-12月令)	50~55	横這い
	初妊牛	85~100	強含み
	経産牛	55~65	横這い
帯広管内	育成牛 (10-12月令)	50~55	横這い
	初妊牛	85~100	強含み
	経産牛	55~65	横這い
道北管内	育成牛 (10-12月令)	50~55	横這い
	初妊牛	85~100	強含み
	経産牛	55~65	強含み
道内総括	育成牛 (10-12月令)	53~58	横這い
	初妊牛	87~98	強含み
	経産牛	55~65	横這い

1月の初妊牛動向は、3月～4月分娩の荷動きが中心となります。12月に入り道内全ての地域で育成牛・初妊牛・経産牛の価格は一段と値を上げております。腹条件で価格に差があり、ホル腹はF1腹及び雌雄選別腹より10万安い相場になっております。1月以降につきましても搾乳素牛資源が少ない中、道内外のメガファーム等の大型導入も続くと思われ初妊牛価格は強含みで推移すると思われ。

平成28年度 生乳生産実績



平成28年度生乳生産実績(4月～12月 標準進捗率75.34%)
(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白石支部	22	4,789,414.3	4,872,051.4	98.30	6,494,843.0	73.74
七ヶ宿支部	6	1,689,383.8	1,600,708.2	105.54	2,174,102.0	77.70
蔵王支部	26	6,143,185.8	6,065,387.4	101.28	8,212,058.0	74.81
柴田支部	18	3,157,794.0	3,181,270.0	99.26	4,257,156.0	74.18
角田支部	7	1,553,596.9	1,501,464.0	103.47	2,039,124.0	76.19
丸森支部	13	2,356,357.3	2,513,622.4	93.74	3,398,921.0	69.33
仙台支部	12	2,899,043.4	2,691,861.6	107.70	3,646,989.0	79.49
名取支部	6	732,682.0	677,829.0	108.09	930,442.0	78.75
黒川支部	8	1,131,344.0	1,414,383.0	79.99	1,664,966.0	67.95
大崎支部	22	2,667,115.0	2,628,191.0	101.48	3,574,182.0	74.62
遠田支部	17	4,412,463.0	4,347,430.0	101.50	5,739,991.0	76.87
加美支部	20	2,118,885.0	2,341,586.0	90.49	3,157,996.0	67.10
鳴子支部	14	1,764,993.0	1,767,026.0	99.88	2,410,587.0	73.22
一迫支部	12	2,208,320.0	2,357,629.0	93.67	3,215,554.0	68.68
築館支部	15	1,564,722.0	1,688,349.0	92.68	2,262,090.0	69.17
瀬峰支部	9	1,005,556.0	1,102,106.0	91.24	1,495,649.0	67.23
迫支部	13	2,663,198.0	2,756,639.0	96.61	3,718,595.0	71.62
中田支部	9	1,039,243.0	1,017,786.0	102.11	1,377,999.0	75.42
東和支部	7	928,964.0	977,409.0	95.04	1,316,060.0	70.59
志津川支部	9	915,349.0	867,426.0	105.52	1,179,025.0	77.64
本吉支部	11	801,243.0	955,027.0	83.90	1,268,777.0	63.15
石巻支部	7	840,171.0	924,435.0	90.88	1,239,311.0	67.79
豊里支部	13	1,830,386.0	1,853,895.0	98.73	2,510,583.0	72.91
みやぎの酪農	296	49,213,409.5	50,103,511.0	98.22	67,285,000.0	73.14

※出荷戸数については、直近の数字です。

【第8回理事会】

開催日	平成28年11月28日
付議事項	第1号議案 平成28年度上半期決算監査にかかる監事監査報告について
	第2号議案 業務委員会からの答申について
	第3号議案 役員候補者推薦実施規則の一部変更について
	第4号議案 実践的能力者に関する基準の設定について
	第5号議案 役員の定年制等に関する内規の一部変更について
	第6号議案 定期賞与(12月期)の支給について

【第9回理事会】

開催日	平成28年12月14日
付議事項	第1号議案 就業規則等の一部変更について
	第2号議案 組織から選出される役員候補者の資格基準にかかる内規の一部変更について

業務報告

11月1日	10/31～役員研修	福	島	県
11月2日	東北酪農生産研究会海外研修報告会打合せ 全国和牛能力共進会宮城県実行委員会臨時総会	仙	台	市
11月4日	婦人部仙台支部研修会	仙	台	市
11月5日	ふるさと渋谷フェスティバル2016 ～6日	東	京	都
11月6日	気仙沼市本吉産業まつり2016 あぶくまの里モーモーまつり～丸森町畜産共進会	気	仙 沼	市
11月7日	東北生販理事会	丸	森	町
11月8日	東北生販上半期決算監査 一迫支部研修会 全酪連仙台支所購買・畜産・指導主任者会議 ～9日	仙	台	市
11月10日	平成28年度上半期決算監査 牛乳乳製品利用料理コンクール書類審査会 畜産近代化リース協会貸付事業意見交換会	栗	原	市
11月11日	平成28年度上半期決算監査 年金委員・健康保険委員合同研修会	岩	手	県
11月14日	上半期決算監査	本	台	所
11月16日	東北酪農青年女性会議秋季酪農研修会 ～17日 年末調整説明会 宮城県北部家保畜産担当者会議	仙	里	市
11月17日	学校給食用牛乳推進協議会	美	台	町
11月18日	角田市酪連研修会	本	所	他
11月21日	総務委員会 JA全国中央会主催規制改革に係る集会	大	崎	市
11月22日	業務委員会 仙台支部研修会	福	島	県
11月25日	平成28年度家畜自衛防疫推進会議(家畜衛生専門委員会) 東北生販生乳受託販売委員会 三住酪農組合牛魂祭 平成28年度死亡牛緊急検査処理円滑化推進協議会	大	崎	市
11月26日	全酪連会員職員研修会 本吉支部交流会 宮城明乳会オーナーセミナー講演会	美	里	町
11月28日	第8回理事会 (株)みやぎの運送取締役会	仙	台	市
		福	京	都
		本	所	所
		仙	台	市
		仙	台	市
		白	石	市
		仙	台	市
		気	仙 沼	市
		仙	台	市
		本	所	所

11月29日	榛名酪連青年部視察研修 東北生販理事会・懇談会 ～ 30日 宮城県家畜人工授精師協会講習会 農業分野における独占禁止法等説明会	蔵仙大仙本気大仙東大栗東登仙イ	王台崎台	町市市市所市市
11月30日	みやぎの酪農協畜産クラスター協議会臨時総会			
12月 1日	本吉放牧場衛生検査報告会・放牧検討会 一迫支部研修会 宮城県牛乳普及協会・仙台市ガス局共催料理教室 日本酪農政治連盟常任・中央合同委員会 高病原性鳥インフルエンザ情報連絡会議	仙沼	沼崎台	市市市市市
12月 2日	黒川支部研修会 築館支部研修会 畜産近代化リース協会業務推進打合せ 青年部登米支部研修会	大仙東大栗東登仙	京崎和原京米台	市市都市市都市市
12月 4日	第12回酪農フレンズパーティー			
12月 5日	みやぎの酪農旅行会海外旅行 ～ 8日 J A人事教育担当部課長会議 瀬峰支部研修会 牛乳乳製品利用料理コンクール宮城県大会	インドネシア	取崎台	市市市市市
12月 6日	志津川支部研修会	南三陸	三陸	町都
12月 7日	酪農ヘルパー事業優良事例発表会 自衛防疫推進対策会議	大仙美東大栗仙大東大栗松本登仙東加仙本美仙仙	河台里京崎原台吉米台	町都町市市市市市市市
12月 8日	畜産クラスター（機械導入）要望調査ヒアリング 自衛防疫推進対策会議 指定団体長懇談会 高病原性等インフルエンザ対策本部北部現地地方支部会議			
12月 9日	婦人部栗原支部研修会 青年部酪農研修会 婦人部仙南支部研修会 （一社）全国酪農協会役員会	大東大栗仙大東大栗松本登仙東加仙本美仙仙	河原京崎原島吉米台	町市市市市市市市市
12月13日	上原酪農組合研修会 大崎支部研修会 青年部栗原支部研修会			
12月14日	第9回理事会・合同懇談会 ～ 15日			
12月15日	本吉町有期肥料センター利用組合総会 青年部登米支部研修会 宮城県酪農団体合理化検討会委員会			
12月16日	宮城県生乳取扱者認定委員会			
12月19日	（一社）酪農ヘルパー全国協会臨時会員総会 加美支部研修会			
12月21日	東電損害賠償宮城県協議会第52回総会 DMS相談会 平成29年度宮城県総合畜産共進会出品委員会 宮城県農林年金制度完了組織対策協議会委員会			
12月22日	平成29年度JA経営計画樹立研修会			
12月26日	東北生販指定団体機能強化推進委員会			
12月27日	酪政連東北ブロック協議会意見交換会			

〔編集後記〕

もうじき、節分になります。節分は季節の変わり目でこの日は厄除け行事として豆まきをします。豆まきで余った豆を白い紙にくるんで、枕元に置いて寝ると願いがかなうらしいです。「全体運」は2コ、「健康運」は3コ、「恋愛運」は4コ、「金運」は7コを年齢分にプラスして、包んだ紙には、名前と年齢を書くそうです。ぜひ、節分の日に1年間の幸せを願って試してください。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)